

お得意様各位

[連-160415]

平成28年4月15日

『新型ワンタッチ式ターンバックルセット』 組込み開始のご案内

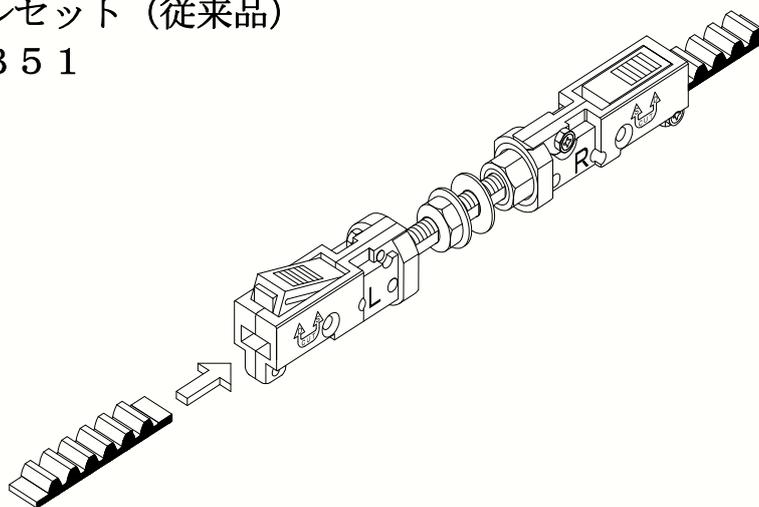
拝啓 貴社ますますご清栄の段お喜び申し上げます。

毎々格別なお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

新ワンタッチ式ターンバックルセットの組込み開始をご案内させていただきます。

●ターンバックルセット (従来品)

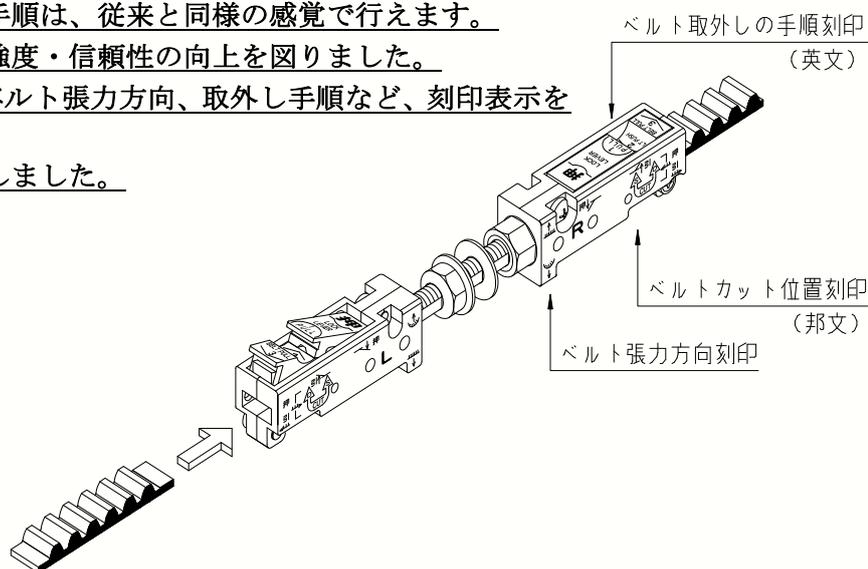
SH-LKTB51



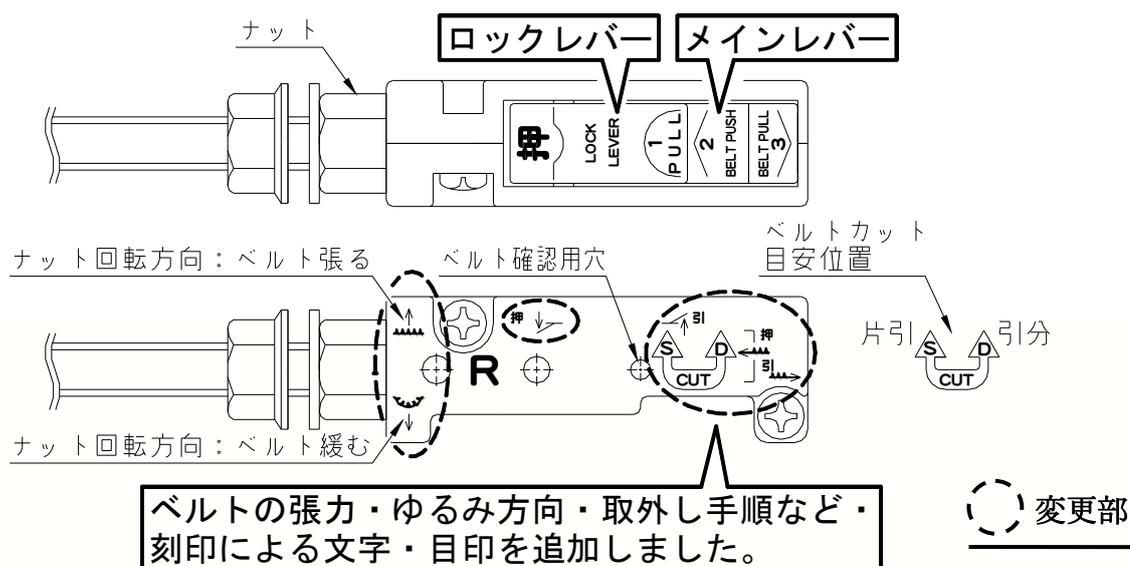
●新型ターンバックルセット

SH-LKTB71

1. ロックレバーを上げない限り解除しない機構になりました。
2. 外形寸法は、現行品と同じ寸法です。
3. ベルトの組込み手順は、従来と同様の感覚で行えます。
4. 金具の形状は、強度・信頼性の向上を図りました。
5. 金具側面には、ベルト張力方向、取外し手順など、刻印表示を入れました。
6. 英文表記も追加しました。



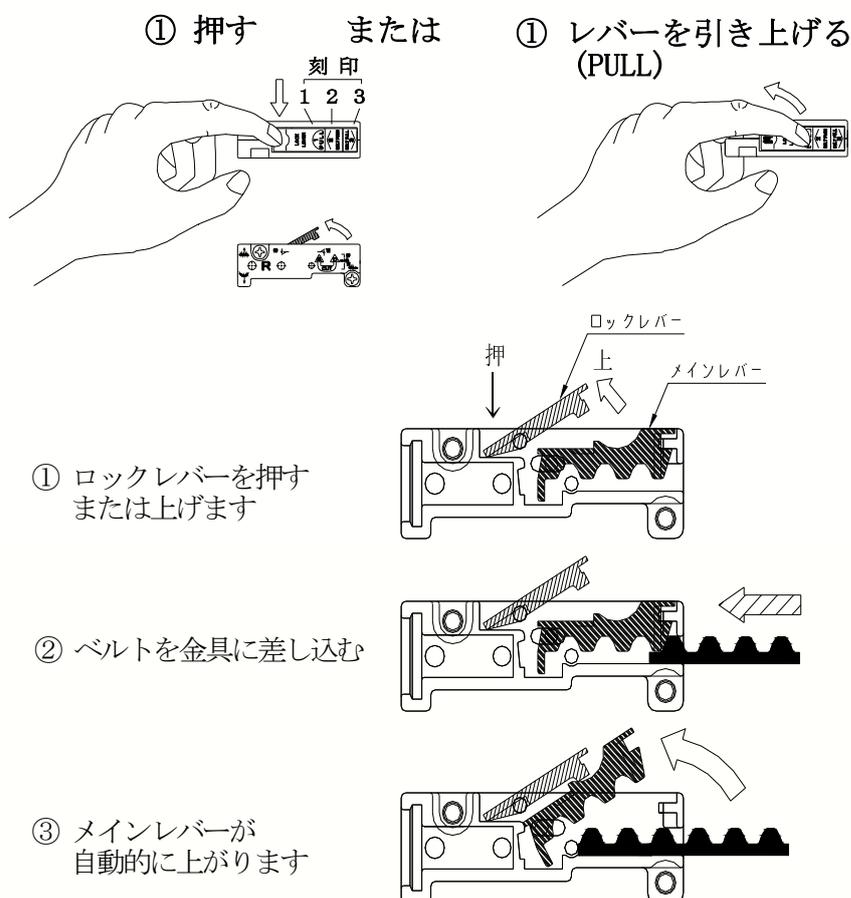
●タイミングベルトの取外し手順方法



1. メインレバーが閉じている場合の解除方法

ロックレバーを押しながら、または、上げてベルトを差し込むとメインレバーが自動的に上がります。

※ 金具本体の分解は厳禁です。



さて、代理店様よりご愛顧いただいております、各種エンジン装置に組込みしているワンタッチ式ターンバックルにつきましては、取付け先でベースの切縮めが生じて、必要な長さを決めるだけで、タイミングベルトが簡単に取外し・張り調整が可能となっており、各代理店様から調整し易いと大変ご好評をいただいております。

ところで、同金具は不用意なベルト抜けを防ぐ為、M4 ビスでメインレバーのロックが可能につき、現場でご対応をお願いしておりましたが、弊社では、今回さらに取付け先での信頼性の向上を目的として、解錠方向にベルトが作用してもレバーが解錠しない機構に改善し、このたび新型として現行品と互換性を持たせた『ターンバックル』の出荷態勢がととのいましたのでご案内いたします。

前図及び別紙をご参照ください。

【改良点と主な特長】

1. ロックレバー金具を追加することにより、レバーを上げない限り解除しない機構に変更しました。
2. 当金具の外形寸法は、現行品と同じ寸法ですので、従動プーリー、連結金具との取合いを考慮する必要がなく、保守面でも容易になっております。
3. ベルトの組込み手順は、同様の感覚で行えるように操作性を維持しました。
4. 金具の形状を、一部肉厚化することで強度・信頼性の向上を図りました。
5. 各金具側面には、作業性の向上を目的としてベルトの張力・ゆるみ方向、ベルトの取外し手順など、刻印表示による文字・目印などを追加しました。
6. 英文表記も追加しました。

今後とも、代理店様のお声をお聞かせいただきながら、技術・営業・拡販面でご支援が出来ますよう、「新しい発想」「簡単で取付けやすく」「より完成度の高い自動ドア」をめざし開発を進めてまいりますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬 具

記

実施日 平成28年4月18日（月）受注分より
発注、在庫の関係上、新型と従来品が7～8月頃まで混ざることも
あるかと思いますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

品 名 ターンバックルセット
規 格 S H - L K T B 7 1

お願ひ

ドアウェイ（ドア開閉軌道上）に監視エリアを設定可能な、無目取付型スーパーセンサー DA-3001（竹中エンジニアリング様製）を2008年7月から正式発売しております。

エレベーター、エスカレーターなどで相次いだ痛ましい人身事故を二度と繰り返さないよう、自動ドアに関しても安全性の確保が重要です。

DA-3001の採用による安全性の向上を、施主様へ積極的にご紹介いただくことにより、営業活動の一助となれば幸いです。